



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 平安レイサーサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2344 URL <http://www.heian-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相馬 秀行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 平井 良也 (TEL) 0463-34-2771
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,284	△3.0	1,245	△16.2	1,324	△15.0	891	△16.0
29年3月期第3四半期	7,510	5.4	1,487	7.9	1,557	6.9	1,061	14.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 893百万円(△14.0%) 29年3月期第3四半期 1,038百万円(11.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	67.90	—
29年3月期第3四半期	80.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	32,187	17,192	53.4
29年3月期	32,080	16,614	51.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 17,192百万円 29年3月期 16,614百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	11.00	—	12.00	23.00
30年3月期	—	12.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,338	1.3	2,025	0.03	2,133	0.4	1,346	△4.2	102.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	14,667,000株	29年3月期	14,667,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,533,005株	29年3月期	1,533,005株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	13,133,995株	29年3月期3Q	13,134,033株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済の概況は、景気は緩やかに回復している中で、個人消費は持ち直しております。また、雇用・所得環境の改善傾向が続く中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続く事が期待されております。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強、新商品・新サービスの商品化による収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率の維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

① 冠婚事業

当事業では、コルティエーレ茅ヶ崎及びロイヤルマナーフォートベルジュールのバンケットホールを、照明や内装を中心にリニューアルし、各ホールの差別化を図りました。ホール内の装飾を含め細部までコーディネートが可能な、世界にひとつだけのオリジナルウェディング「ハートメイドウェディング」を軸に異なるスタイルから選べるよう、各広告媒体におけるビジュアル面の強化を行うとともに、営業面では来館に繋げるための各種インターネット媒体を中心としたツールを拡充し、資料請求や来館者数の増加に努めてまいりました。

また、ロイヤルマナーフォートベルジュールにおいては、衣裳展示室を、撮影時に自由に使えるグッズやPOPを用意するなど、新規来館のお客様やゲストの方が自由に撮影できるスポットとしても使えるドレスサロンへとリニューアルし、フォトウェディングの強化を行いました。

教育面では、継続したフロントスタッフの新規対応・提案力向上への研修を実施し、営業力強化を図り婚礼成約数の増加に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間においては婚礼施行組数とともに、婚礼一組単価も各種オリジナル商品が寄与したこともあって増加となり、売上高は339百万円（前年同期比12.3%増加）、営業利益は47百万円（前年同期比66.5%増加）となりました。

② 葬祭事業

当事業では、前連結会計年度に開業した「湘和会堂手広」（鎌倉市笛田）が通年稼働を始め順調に施行件数を伸ばしました。

また、既存大型葬祭施設の施行件数増加を図るため、大中規模対応のフロアを残しつつ、小規模にも対応可能な改装を実施し、当第3四半期連結会計期間においては、カルチャーBONDS藤沢（藤沢市藤沢）とカルチャーBONDS小田原（小田原市多古）に家族葬専用式場を新設するとともに、ご家族が故人にゆったりと寄り添える専用安置室「貴殯室」等の整備を進めてまいりました。

商品面では、継続的な取り組みとして、社内製作による故人を中心として惜別する「追悼壇」や生花を融合させた「追悼生花祭壇」、故人を生花で囲んで送る「花園」、あらゆる音楽ソースを忠実に再現する「オリジナル大型スピーカー」等のオリジナル商品の販売を強化してまいりました。さらに、すべての施設での面前調理を実現可能にした、出来立ての天ぷら等を提供する「消臭機能付きIHクッキングワゴン」（平成29年2月特許取得）では、食を通じご家族と会葬者のふれあいの場作りの提案を実施いたしました。

営業面では、インターネットを含む各種広告媒体を駆使してより細やかな情報発信を定期的に行う等、告知活動を強化するとともに、引き続き各施設の認知度向上や生前相談者数の増加を図るため、オリジナル商品を中心とした提案型の施設見学会や内覧会を通じて営業活動を行いました。加えて、通常の葬祭イベントに比べ来館しやすい企画として、仏壇・墓地関連及び相続相談等を中心とした「メモリアルフェア」を開催し、集客及び周辺売上の増強に努めてまいりました。

教育面では、引き続き当社独自の研修である、不安や疑問を解くカウンセリングセールストーク研修を行いました。さらに、潜在的な想いを当社オリジナル商品を通じて具現化するためのコンサルティングセールストーク研修を継続して実施いたしました。

当社主要エリアにおける死亡人口増加率は第3四半期連結累計期間では上昇いたしました。その中で、当第3四半期連結会計期間におけるシェア率が前年同期に比べ微増となった一方、第3四半期連結累計期間ではシェア率は下降したものの葬儀件数は増加となりました。また、葬祭一件単価は会葬者数の減少等の影響により下落となったこともあり、売上高は6,120百万円（前年同期比4.9%減少）、営業利益については時給社員の待遇改善の影響等も

あり1,698百万円（前年同期比12.5%減少）となりました。

③ 互助会事業

当事業では、平成29年4月に従来よりも完納額が少ない新コースの募集を開始し、大小さまざまな規模の葬儀に対応できるようにいたしました。また、互助会加入者総数に対する葬儀施行利用率は横ばいの中、葬祭一件単価減少等の影響もあり、売上高は178百万円（前年同期比4.8%減少）、営業利益は96百万円（前年同期比0.01%増加）となりました。

④ 介護事業

当事業では、平成29年4月に小規模多機能型居宅介護とグループホーム（認知症対応型共同生活介護）を備える複合型施設「へいあん片瀬鵜沼」（藤沢市片瀬）が開業し、順調に稼動しております。

その結果、売上高は822百万円（前年同期比6.7%増加）、経費面では教育研修や人員採用を含む新規店舗の開業費用が発生したこともあり、営業利益は23百万円（前年同期比18.9%減少）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,284百万円（前年同期比3.0%減少）、営業利益は1,245百万円（前年同期比16.2%減少）、経常利益は1,324百万円（前年同期比15.0%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は891百万円（前年同期比16.0%減少）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して106百万円の増加となりました。流動資産では、現金及び預金が461百万円増加、有価証券が償還等により701百万円の減少、有形固定資産は、土地が取得により94百万円、その他に集計された建設仮勘定が81百万円それぞれ増加いたしました。減価償却等により74百万円減少しました。また、投資その他の資産では、供託金が414百万円増加しております。

負債合計では、前連結会計年度末に比較して471百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付により未払法人税等が310百万円減少いたしました。固定負債では、前払式特定取引前受金が192百万円減少しております。

純資産は、前連結会計年度末と比較して577百万円の増加となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月8日に公表いたしました通期の業績予想から修正は行っておりません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手しております情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,876,956	10,338,394
売掛金	249,783	265,283
有価証券	701,019	-
商品及び製品	39,628	41,616
原材料及び貯蔵品	125,605	106,441
繰延税金資産	80,823	44,973
その他	104,546	133,030
貸倒引当金	△2,289	△2,428
流動資産合計	11,176,073	10,927,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,476,148	4,270,695
機械装置及び運搬具（純額）	136,208	113,548
工具、器具及び備品（純額）	160,220	138,462
土地	7,254,010	7,348,127
その他	53,092	134,199
有形固定資産合計	12,079,680	12,005,033
無形固定資産	43,671	37,523
投資その他の資産		
投資有価証券	155,623	158,209
長期貸付金	30,000	30,000
繰延税金資産	256,943	258,076
供託金	6,440,423	6,854,500
その他	1,898,230	1,916,527
投資その他の資産合計	8,781,221	9,217,313
固定資産合計	20,904,573	21,259,870
資産合計	32,080,647	32,187,181

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	244,184	241,254
未払法人税等	500,677	190,412
掛金解約手数料戻し損失引当金	5,590	4,097
その他	776,168	793,109
流動負債合計	1,526,622	1,228,874
固定負債		
繰延税金負債	40,175	41,156
役員退職慰労引当金	83,912	83,912
退職給付に係る負債	121,336	134,678
資産除去債務	118,557	119,666
前払式特定取引前受金	13,548,503	13,355,591
その他	26,587	30,445
固定負債合計	13,939,072	13,765,451
負債合計	15,465,694	14,994,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	13,657,350	14,233,891
自己株式	△670,502	△670,502
株主資本合計	16,610,759	17,187,299
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,192	5,555
その他の包括利益累計額合計	4,192	5,555
純資産合計	16,614,952	17,192,855
負債純資産合計	32,080,647	32,187,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	7,510,255	7,284,501
売上原価	5,074,637	5,109,022
売上総利益	2,435,617	2,175,479
販売費及び一般管理費	948,524	929,817
営業利益	1,487,092	1,245,662
営業外収益		
受取利息	3,958	2,803
受取配当金	2,371	1,108
掛金解約手数料	19,412	15,576
受取家賃	12,010	24,540
その他	38,022	36,887
営業外収益合計	75,776	80,915
営業外費用		
供託委託手数料	682	225
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	3,144	754
保険解約損	545	274
その他	1,320	1,281
営業外費用合計	5,692	2,536
経常利益	1,557,176	1,324,041
特別利益		
投資有価証券売却益	64,050	-
補助金収入	-	78,623
特別利益合計	64,050	78,623
特別損失		
固定資産圧縮損	-	61,856
特別損失合計	-	61,856
税金等調整前四半期純利益	1,621,227	1,340,808
法人税、住民税及び事業税	508,625	413,957
法人税等調整額	50,984	35,094
法人税等合計	559,609	449,052
四半期純利益	1,061,617	891,756
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,061,617	891,756

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,061,617	891,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,612	1,363
その他の包括利益合計	△23,612	1,363
四半期包括利益	1,038,005	893,119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,038,005	893,119
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	302,190	6,434,372	49	770,412	7,507,025	3,229	7,510,255
セグメント間の内部売上高 又は内部売上高	—	—	187,637	—	187,637	—	187,637
計	302,190	6,434,372	187,687	770,412	7,694,663	3,229	7,697,892
セグメント利益	28,585	1,941,989	96,253	29,194	2,096,022	711	2,096,734

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,096,022
「その他」の区分の利益	711
全社費用(注)	△609,641
四半期連結損益計算書の営業利益	1,487,092

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	339,316	6,120,498	17	822,127	7,281,959	2,542	7,284,501
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	178,597	—	178,597	—	178,597
計	339,316	6,120,498	178,615	822,127	7,460,557	2,542	7,463,099
セグメント利益	47,585	1,698,484	96,265	23,678	1,866,013	602	1,866,615

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,866,013
「その他」の区分の利益	602
全社費用(注)	△620,953
四半期連結損益計算書の営業利益	1,245,662

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。